

主な予定視察先

ドバイ・モール

2008年11月にオープンした世界最大級SC。サッカー場50個分の広さをもつドバイ・モールには、1,200の小売店、2つの主要デパートメントストア、120以上の飲食店が入る。33,000匹の生物を擁する世界最大の屋内水族館、220店以上が集まる世界最大の屋内ゴールドスーク、中東初のギャラリー・ラファイエット(Galleries Lafayette)、セガの屋内テーマパーク、キッザニア(KidZania)、オリンピックサイズのアイススケート場、22スクリーンのシネプレックスなども注目される。最初の1年で3,000万人の来客が見込まれており、そのために1.4万台分の駐車場やシェイク・ザード・ロードから直接アクセスできる専用の橋をつくる。



スーク・マディナ・ジュメイラ

古代のアラブのお城を再現した街「マディナ・ジュメイラ」の敷地中央部に位置するSC。ドバイの原風景の一つともなっている梁が何本も宙に突き出ている「風の塔」が特徴的。昔ながらの庶民の市場であるスークをイメージさせる



アーケードには、中東ならではの絨毯やクラフトなどの工芸品を扱うショップがある一方、モダンなブティックやレストランなども集まる。

モール・オブ・エミレーツ

石垣島と同じくらいの広さの敷地内には450以上の店舗、約70のレストラン、ホテル、映画館、アートセンター、そして屋内人工スキー場SKI DUBAIがある。施設の中で、ドバイ人男性に圧倒的な人気なのがアルマーニ直営のアルマーニ・カフェ。イギリスの百貨店ハーベイ・ニコルス、デベンハムやH&Mなどもある。フランスのSMのカルフルも入居している。



ドバイの概要

- ・国 / アラブ首長国連邦(UAE:United Arab Emirates)
- ・首長国 / ドバイ首長国
- ・首都 / ドバイ
- ・総面積 / 3,885km²
- ・人口 / 約137万人(2006年)
- ・GDP / 約460億ドル(2006年)
- ・住民 / アラブ人、イラン人、パキスタン人、アフリカ人
- ・言語 / アラビア語(公用語)、英語、ペルシア語
- ・通貨 / UAE ディルハム(AED)
※レート:26.66円(2008年12月1日現在)
- ・時差 / 日本との時差-5時間。ドバイの方が遅れている。

日程表

日次	月日 (曜日)	訪問地	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	3/2 (月)	羽田空港発 関西国際空港着 関西国際空港発	EK6257 EK317	19:50発 21:10着 23:15発	羽田発の方はエミレーツ航空6257便にて関西国際空港へ。 エミレーツ航空317便にてドバイへ。 【機内泊】	夕:機内
2	3/3 (火)	ドバイ着	専用車	5:55着 午前 午後	着後、専用車にてホテルへ。 ホテルにてレクチャー 昼食は、パーム・ジュメイラにできた、巨大リゾート施設『アトランティス・ザ・パーム』にてお召し上がりいただきます。 昼食後、バージュ・アル・アラブ(外観)、人工島パームアイランド見学、バージュ・ドバイなどの主要な開発物件やナキール社のセールスオフィスにて大型開発に関する完成予想図や模型、モデルルームを見学 夜、ディナークルーズにてSC協会主催ウェルカムディナーパーティー 【ドバイ泊】	朝:○ 昼:○ 夕:○
3	3/4 (水)	ドバイ	専用車		終日、商業施設視察 ●ドバイ・モール ●スーク・マディナ・ジュメイラ 【ドバイ泊】	朝:○ 昼:× 夕:×
4	3/5 (木)	ドバイ	専用車	午前 午後 夕刻 夜	商業施設視察 ●モール・オブ・エミレーツ UAEの文化体験 ジュメイラモスク訪問やイスラム教、UAEの文化などの説明 砂漠のキャンプ地でSC協会主催フェアウェルディナーパーティー ホテルにて、出発までお過ごしください。 【ドバイ泊】	朝:○ 昼:× 夕:○
5	3/6 (金)	ドバイ発 関西国際空港着 関西国際空港発 羽田空港着	専用車 EK316 EK6252	深夜 2:50 16:40 19:15 20:25	専用車にて空港へ。 エミレーツ航空316便にて、帰国の途へ。 着後、解散。 羽田発の方はエミレーツ航空6252便にて羽田空港へ。 ※羽田空港まで、添乗員が同行いたします。 羽田空港着。	朝:機内

※視察先SC並びに交通機関・時刻は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

EK エミレーツ航空

◆参加者限定 ツアー事前説明会◆

- ・日時 / 2月19日(木) 14:30~(予定)
- ・内容 / ドバイの発展をめぐる最新事情
- ・参加料 / 無料
- ・会場 / 日本ショッピングセンター協会・会議室

■エミレーツ航空

アラブ首長国連邦のドバイを本拠地とする航空会社。近年は急速な拡大戦略を採っており、最新鋭機を大量に発注し、大きな注目を集めている。また、機内サービスの評価は高く、業界でも権威あるアメリカのOAG(Official Airline Guide)によるエアライン・オブ・ザ・イヤーなど、数々の賞を受賞している。
※日本からドバイへの直行便は、関西国際空港と中部国際空港から、エミレーツ航空しか運行しておりません。